

商談会（技術ニーズシート）
 案件 No. BZ22-026

データ
管理

ブロックチェーンを活用した
再エネ普及への取り組み

RICOH
imagine. change.

目的

世界的に注目されつつある脱炭素社会の実現、再エネの利用。
 しかし現状では再エネ利用は利用者にも供給者にも負担が強います。
 我々はブロックチェーンを使い、「**安価に誰でも扱える再エネ**」を目指します。

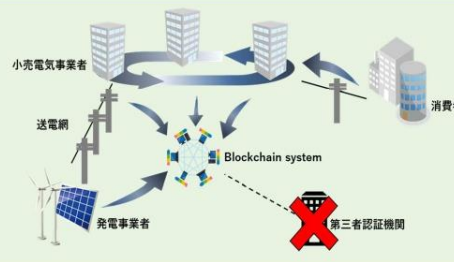


【現在の課題】

- 1. 再エネの供給安定性の低さ**
 - 再エネは発電量が安定しない
 - 小売事業者は再エネ利用がリスクになる
- 2. 再エネ証書発行費用**
 - 証書は1円/kWh程度はかかる
 - 結局は消費者がその費用を負担する事に

【目指す姿】

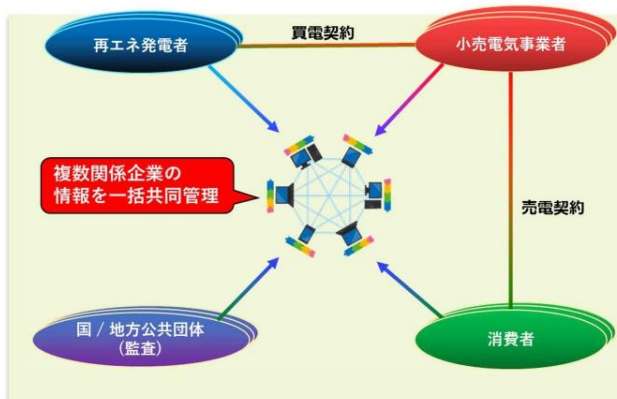
- 1. 再エネの供給安定性の向上**
 - 各小売事業者の需給量を即時把握
 - 小売間の即時再エネ融通でリスクを低減
- 2. 再エネ証書不要**
 - ブロックチェーンで証拠性保証
 - 再エネインフラの自動化で維持費も安く



ブロックチェーンの
メリット

ネットワーク上の複数のコンピュータでデータを共同管理するシステムです。
 誰でも利用でき、不正困難で、証拠性が必要なデータ管理に向きます。

再エネ電力の証拠性共有は、各関係者にメリットをもたらします。



【再エネ発電者のメリット】

- 再エネ自体の価値が向上する

【小売電気事業者のメリット】

- 過不足は即時融通可能
- 証書を不要にしコスト削減可能

【消費者のメリット】

- 再エネ利用実績が証明される
- 企業の環境貢献をアピール可能

【国 / 地方公共団体のメリット】

- 標準化、自動化で監査が楽に

送付先：biz-saitama2022@sozo-saitama.or.jp

商談会（技術ニーズシート）
案件 **No. BZ22-026**